

東京湾縦断飛行と将来構想およびビジネス戦略

1. 首都圏の2つの政令指定都市(横浜市・千葉市)を結ぶ、空の物流ドローンハイウェイ

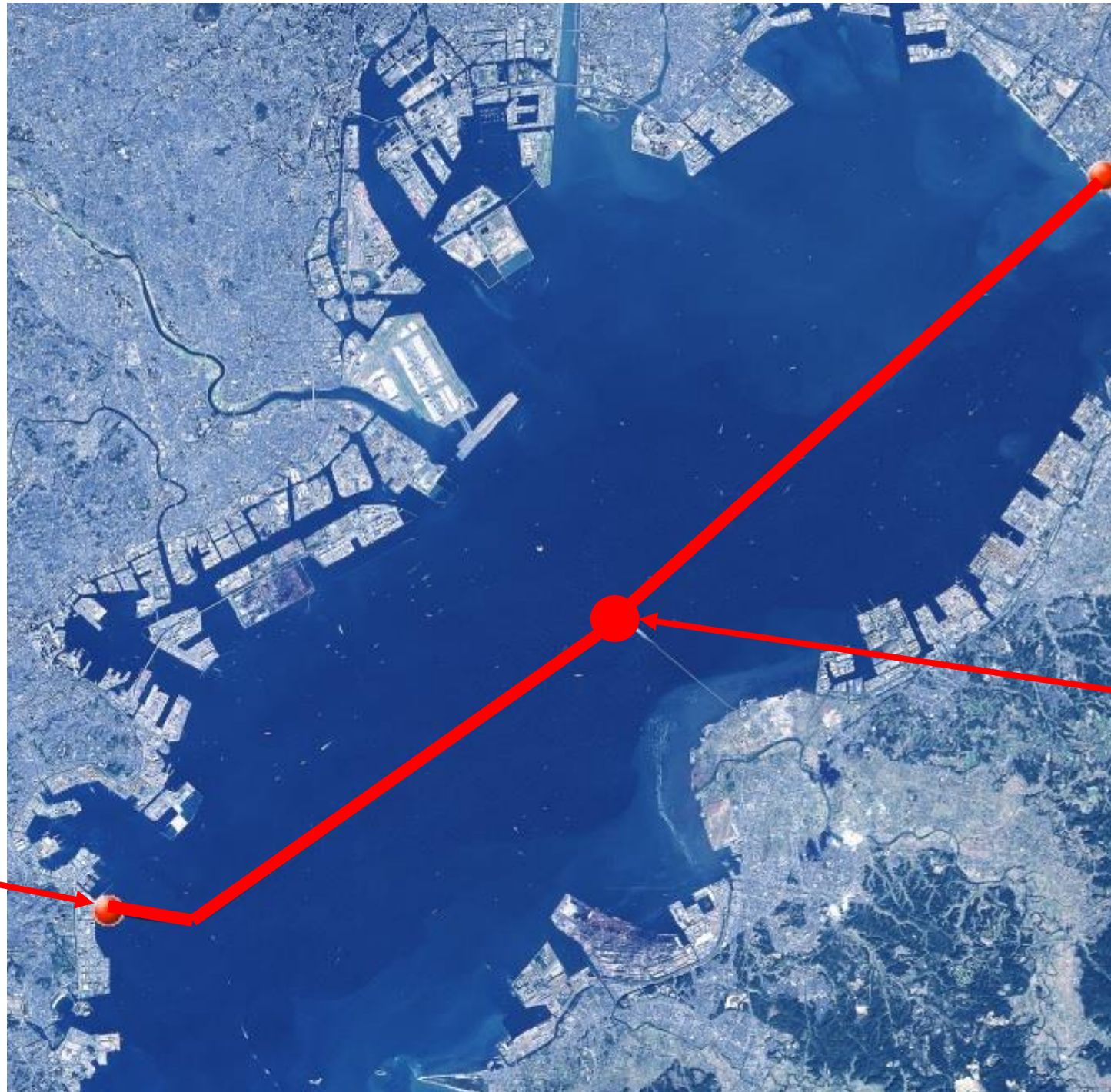
- ・湾岸道路、アクアラインという地上交通網とは別の第3の大動脈・空の交通システム
- ・慢性的な地上交通システムの渋滞回避を実現する環境に優しいエコシステム
- ・BtoB、または、BtoCのビジネス便による便利、低価格システム
- ・横浜市や川崎市を中心とした京浜地区と千葉市や市原市等の京葉地区の新たな連結

2. 最近の大型台風・集中豪雨など大規模災害に対応できる防災・減災システムとして機能(ドクターヘリと連携した空からの救急医療)

空からの被災地調査や救援物資の搬送

3. 想定される首都直下地震に対する災害救援物資搬送のための物流ドローンハイウェイ

- ・想定される首都直下地震時には多くの陸路は寸断されて地上交通は麻痺
- ・こうした大災害時に最も効果的なアクセス方法は空であり、物流ドローンハイウェイは大活躍することが期待される
- ・非常時の災害に備えるためにも、平常時に物流ドローンハイウェイとして稼働していること



着陸ポイント
(稲毛海浜公園)

中間ポイント
(海ほたる)

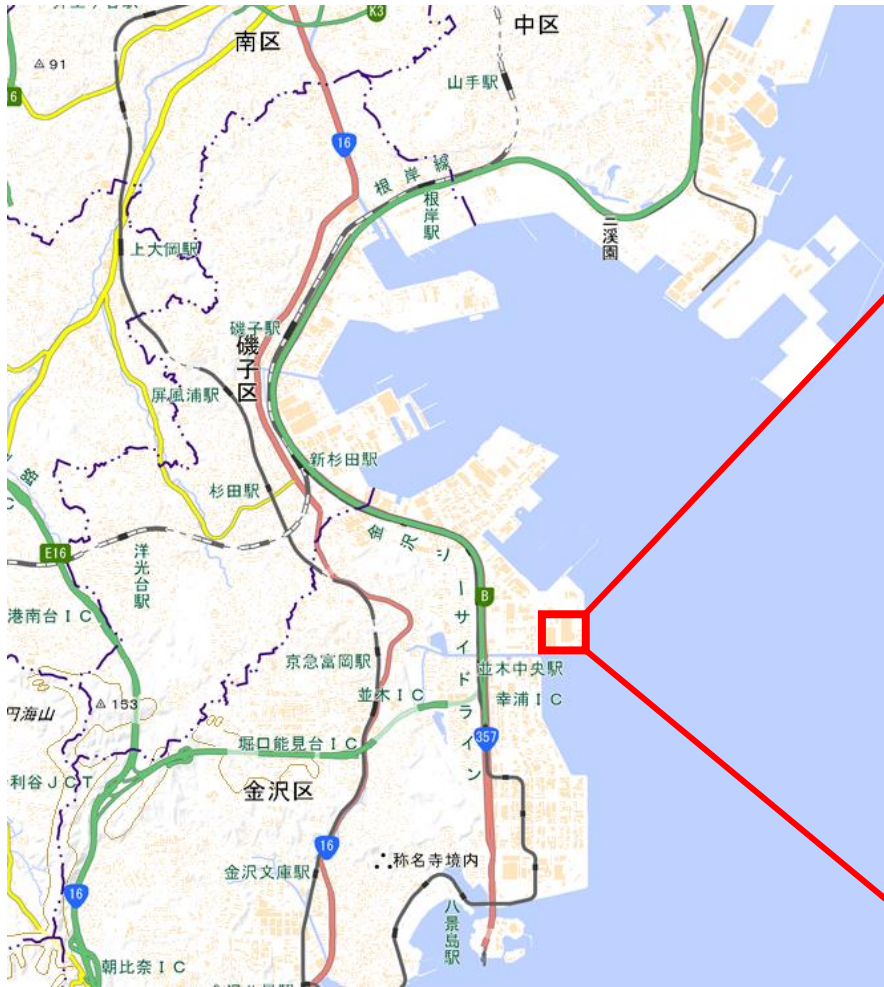
離陸ポイント
(神奈川県横浜市金沢区幸浦)

※ 国土地理院の地理院地図を使用



東京国際空港外側水平表面

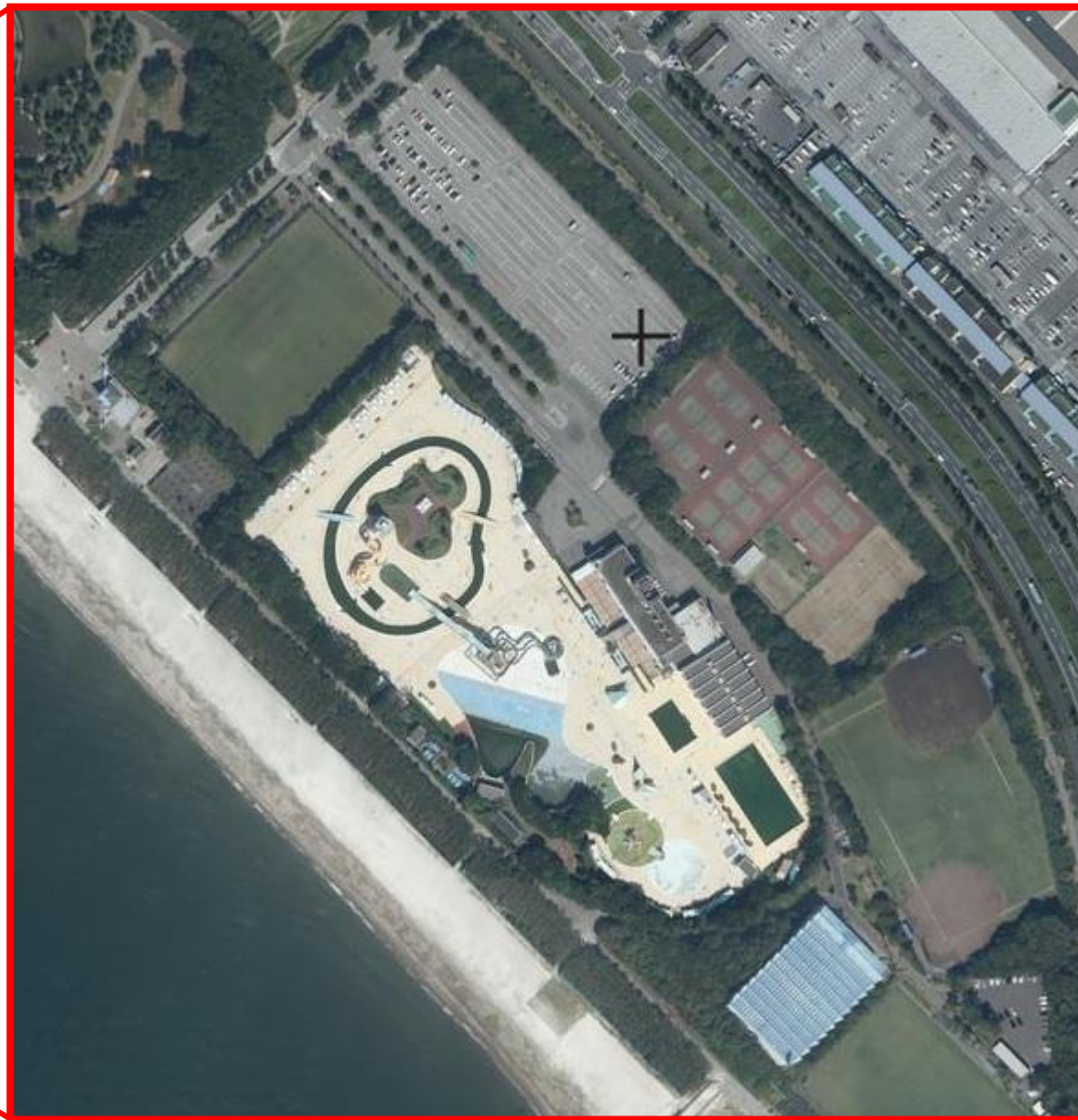
FAAニアミス定義
半径150m、高度差60m



離陸ポイント（幸浦）



中間ポイント候補（海ほたる）



着陸ポイント（稲毛海岸）

東京湾縦断飛行のロードマップと社会実装化の展望

2021年 目視外長距離飛行
東京湾縦断飛行
(横浜、川崎、東京—千葉)

2022年 目視外長距離飛行
千葉市全域カバー飛行
(25 km×15 km)

2023年 第三者上空飛行許可
取得、ビジネス開始予定

東京湾縦断飛行実証実験 (VTOL カイトプレーン検証)

千葉市全域カバー実証飛行 (離発着地点の自動化)

東京湾縦断飛行ビジネス便開始

千葉市内上空の物流実証実験継続

離島・山間部でのビジネス開始

- ・ 飛行実績の蓄積
- ・ 自律飛行制御の高度化
- ・ 目視外・第3者上空の完全自律飛行